

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています

2014年7月1日発行  
NO.409



## 特集 不整脈デバイスチームについて P-2 ～患者さんの心の支えとなるために～



- 栄養カード 夏の栄養の摂り方にひと工夫! P-6
- 情報カード 患者さんの安全への取り組み その2. P-8
- 外来紹介 てんかんセンター P-9

### 病院理念

私たちは利用してくださる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

# 不整脈デバイス チームについて

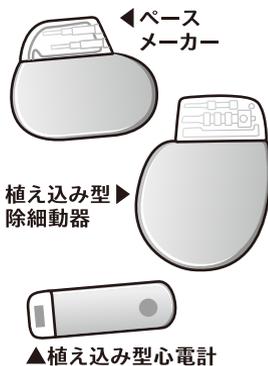
～患者さんの心の支えとなるために～

## 不整脈デバイス とは？

心臓は筋肉でできている臓器です。その筋肉は電気によって動くようになっていきます。電気は心臓の洞結節どうけつせつというところにつくられ、伝導路と呼ばれる通り道を通して心臓の筋肉全体に伝わります。

この電気が規則正しくつくられなかったり、途中で止まってしまったり、洞結節以外の場所でどんどん電気がつかれるようになると、心臓は正常なリズムを失い、脈が乱れます。これを不整脈といいます。

普段生活している時の脈より非常にゆっくりであることを徐脈じよみやく、早くなることを頻脈ひんみやくといいます。その中でも、めまいや吐き気、失神などを引き起こす脈の場合は治療が必要となります。ゆっくりした脈を正常に戻すように働いてくれる「ペースメーカー」、意識を失う原因の不整脈を止める役目の「植え込み型除細動器」、脈を監視することで失神の原因を調べる「植え込み型心電計」などを体に植え込み、使用します。これらの体に植え込む医療機器のことを「**不整脈デバイス**」といいます。



## 不整脈デバイス チーム

「不整脈デバイス」は、年々高度化・複雑化しており、また使用する患者さんも増加しています。そこで、不整脈機器の対応を専門的にできる医療スタッフが必要になってきます。当院には「不整脈デバイスチーム」があり、医師・看護師・臨床工学技士等の職種を混合したチームとして患者さんの診療を行っています。

### デバイスチームの活動内容

- デバイスが安全に作動していることを確認する
- 安心した日常生活が送れるような生活指導
- 遠隔モニタリングの管理

#### 看護師面談



#### 遠隔モニタリング確認

## 遠隔モニタリングとは？

遠隔モニタリングとは、自宅にモニタと呼ばれる送信機を設置することで、デバイスの情報が病院のパソコンに送信され、その情報を医療者が確認することで、患者さんが来院しなくても機器の状態がわかるシステムです。当院は遠隔モニタリングを静岡県でいち早く導入し、活動に力を注いでいます。遠隔モニタリングにより、患者さんは自宅にいながら、不整脈デバイス機器の状態だけでなく、不整脈の有無や日々の活動状態、さらには肺に溜まった水分の状態（＝心不全の兆候）なども病院で確認ができるのです。



遠隔モニタリングのイメージ

## 患者さんの安心のために

当院では看護師が、米国の不整脈関連団体の主催する International Board of Heart Rhythm Examiners (以下: IBHRE) という国際資格を取得し、「デバイスナース (不整脈デバイスの専門的な知識を持った看護師)」として、より患者さんが安心できる医療を提供しています。IBHREを有する看護師は日本にはまだ数名しかいませんが、当院では臨床工学技士も1名取得しています。専門的な知識をいかに、患者さんの不安を少しでも和らげられるよう、さまざまな質問にお答えしています。

「体に機器を入れる」と聞けば、誰でも不安な気持ちになります。不整脈デバイスチームは、そんな患者さんの心の支えとなり、より良い生活を送っていただくために、チーム一丸となって治療をしていきます。今後も患者さんや、ご家族の方からの質問などにも随時お答えしますので、質問・相談の際は主治医を通してお問合せください。不整脈外来の受診を希望される方はご予約をお願いいたします。



▲(後列左から)杉浦亮、藤井洵希、広瀬徳勝、(前列左から)神谷典男、丸尾亜矢子

文責:不整脈デバイスチーム担当  
医師 杉浦 亮 / 看護師 丸尾 亜矢子 / 臨床工学技士 神谷 典男

## 夏の栄養の摂り方にひと工夫！

～ビタミンB1・B2・クエン酸で炭水化物をエネルギーに変えよう～



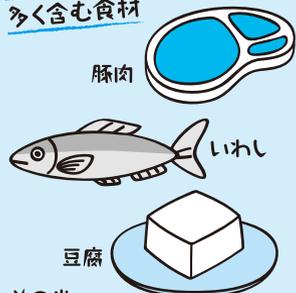
暑い夏は食欲が落ちやすく、冷たく、喉ごしのよい「そうめん」や「ざるそば」など、炭水化物の多い食事になりがちです。

**炭水化物**は重要な栄養素の一つですが、代謝されなかった炭水化物は、尿酸などの疲労物質のもととなってしまいます。そのため代謝してエネルギーに変えるには、**ビタミンB1・B2・クエン酸**と一緒に摂取することが必要です。

1日3食バランスのよい食事を心掛け、疲労を残さず元気に夏をのりきりましょう！

### 炭水化物の消化を助けてくれる食材

#### ビタミンB1・B2を多く含む食材



豚肉  
いわし  
豆腐  
その他…  
枝豆・納豆・ウナギ など

#### クエン酸を多く含む食材



梅干  
酢  
グレープフルーツ  
その他…ゆず・レモン など  
\*酸っぱいものには、クエン酸がたっぷり含まれています

## 豚肉の冷しゃぶ

約210kcal/1人分



### ▶ レシピ(2人分)

#### 材料

- 豚肉の薄切り (しゃぶしゃぶ用) ..... 160g
- レタス(ざく切り) ..... 大2枚
- 玉ねぎ(スライス) ..... 小1/8個
- トマト(くし切り) ..... 中1/2個
- きゅうり(ななめスライス) ..... 小1/4本

ビタミン  
B1・B2

梅だれ

クエン酸

- 梅干(きざむ) ..... 2個
- 酢 ..... 大さじ1と1/2
- 砂糖 ..... 大さじ1
- だし汁 ..... 30cc

#### 作り方

- 1 豚肉を茹で冷水にとり、水気をきる
- 2 野菜をそれぞれの大きさに切る
- 3 かけ汁の調味料をすべて合わせる
- 4 レタスを皿に敷き豚肉を乗せ野菜を上に乗せる
- 5 梅だれをかける

#### ひと手間かけてみませんか？

手作りの梅だれでひと味違った冷しゃぶに仕上がります。梅の酸味で食欲アップも期待できます。

▶ 文責：栄養課 田代 典之(調理師)

シリーズ 聖隷浜松病院の  
患者さんの安全への取り組み — その2.

“医療者間のコミュニケーションエラー”  
を防止する

当院は、国際的病院機能評価機関であるJCI (Joint Commission International) の認証を2012年11月、日本で5番目に取得しています。

その審査項目は1200以上に及びますが、患者さんの安全を保護する仕組みの整備と徹底が厳しく評価されます。現在当院では、特に以下の6項目の防止を強化しています。

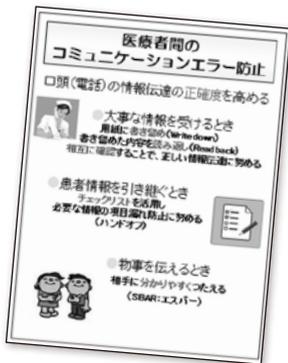
- ① 患者間違い
- ② 医療者間のコミュニケーションエラー
- ③ 薬剤の不適切な使用
- ④ 手術部位の間違い
- ⑤ 医療に関連した感染
- ⑥ 転倒・転落

いずれも注意して当たり前の内容ばかりですが、実は世界中でこの6項目が防止できないために患者さんの安全が脅かされていることがわかっています。

今回は②を防止するために院内で定めた  
職員の安全行動についてご紹介します。

職員は、患者さんに関する大切な医療情報の伝達漏れを起こさないよう、医療者同士の正確な情報伝達に努めています。

電子カルテの利用で情報伝達の精度は一段と向上しましたが、ときに発生する口頭での情報伝達には特に注意を払っています。『(医療情報を)受取る際に書き留めて、(書いた内容を)読み返し、(正しく伝わったか)相互で確認する』ことをルールとしています。また、『チェックリスト』を活用し、伝達すべき項目の漏れを防いでいます。



▲職員にはこのようなポスターを  
掲示し、周知しています

文責：安全管理室 中野由美子



てんかん  
センター

担当 センター長 やまもと たかみち  
山本 貴道

- ▶ 出身地／静岡県
- ▶ 出身校／浜松医科大学(1986年卒)、ニューヨーク大学大学院(2004年卒)
- ▶ 趣味／洋画鑑賞

てんかんが正しく理解され、  
積極的に治療を受けられる社会をめざして

てんかんは脳の病気では頻繁に見られるものの一つです。小児から高齢者まで幅広く見られ、出生後早い段階で発作が始まる例や、成人では脳卒中や脳腫瘍の治療中に発作が起きる場合もあります。一般的に言われているような小児だけの病気ではありません。

治療の基本は抗てんかん薬による治療ですが、20～30%の割合で薬だけでは発作が止まらない場合があります。そのため当センターでは、発作の出てくる源(焦点)を切除する手術によるてんかんの治療や、首の迷走神経を電気刺激して脳に信号を送り発作を減らす新しい治療法(迷走神経刺激療法)も行っています。

てんかんに関する知識や治療内容はまだまだ正しく伝えられていない部分が多く、定期的に市民公開講座や個別相談会を開催するなど、啓発活動も併せて行っています。てんかんでお悩みの方はお気軽にご相談ください。

※初診の方は、紹介状をご用意のうえ予約をお取りください。



# 聖隷浜松病院からのお知らせ

## 新任医師紹介



心臓血管外科

ふるた あきひさ

古田 晃久

大分大学 (2011年卒)

### ■ 紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介・予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診時選定療養費として**3,240円**を別途ご負担いただいております。

当院では、基幹病院と地域の「かかりつけ医」(医院、診療所等)が役割を分担し、連携しながら適切な医療を提供する「地域医療連携」を推進しています。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

※初診時は医療機関からの事前予約にご協力をお願いいたします。

### ■ 面会について

- 面会時間…(月～土曜)14:00～20:00、(日曜・祝日)10:00～20:00
- 産科・小児科病棟の面会者は1階総合受付で手続きのうえ、面会者札の着用をお願いいたします。

第45回 聖隷浜松病院 病院学会 公開企画

## 市民健康セミナー

日時 9月21日(日)13:30～ 会場 えんてつホール

### プログラム

- \* 特別講演 \* 病院代表演題発表 \* ふれあいフェスタ
- \* 特別企画 \* ボランティア表彰

どなたでもご参加  
いただけます!

※詳細は8・9月号でお伝えします!



社会福祉法人聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

ジョイント・コミッション・インターナショナル認証  
日本医療機能評価機構認定  
地域医療支援病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222  
発行責任者 病院長 鳥居 裕一